

子供の貧困に関する指標（沖縄県の状況）

- 沖縄県の子供の相対的貧困率は29.9%で、全国平均の約1.8倍にのぼる。
- 1人当たり県民所得は全国で最も低く、母子世帯の出現率は全国1位。
- 低所得者世帯を対象とする施策を見ると、生活保護率は全国6位、就学援助率は全国10位にとどまる。

	指標	沖縄	全国	順位
①	子供の相対的貧困率(%) (H26)	29.9	16.3 (H25)	—
②	1人当たり県民所得(千円) (H23)	2,018	2,682	1(最少)
③	非正規の職員・従業員率(%) (H24)	44.5	38.2	1
④	母子世帯出現率(%) (H22)	2.7	1.5	1
⑤	生活保護率(‰) (H26. 3)	23.8	16.9	6
⑥	就学援助率(%) (H25)	19.7	15.4	10

<母子世帯の収入状況>

(全国：平成23年11月現在、沖縄県：平成25年11月現在)

	沖縄	全国
自身の年間就労収入	155万円	181万円
世帯の年間総収入	259万円	291万円

<進学率>

(平成27年5月現在)

	沖縄	全国	順位
高校進学率	96.4%	98.5%	1(最少)
大学・短大進学率	39.8%	54.5%	1(最少)
専修学校進学率	26.6%	16.7%	1

(出典：各省の公表資料を基に内閣府で作成（一部沖縄県より提供）)